



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



令和4年5月31日
横浜市立上白根小学校
【6月号】



「学びの機会」

副校長 内 和俊

今年度、上白根小学校に着任して早2か月がたちました。朝、門の前に立っていると、元気のよい「おはようございます」が聞こえてきます。挨拶をするとしっかり挨拶を返してくれたり、私から挨拶をする前に、子どもたちのほうから挨拶をしてくれたり（上白根小学校はこちらの割合がとても高い）、門に立っていると朝からよい気持ちになります。

さて、5月28日（土）は晴天のもとで「スポーツフェスティバル」が行われました。夏を思わせる暑さや日差しの中、保護者の皆様、保護者ボランティアの皆様、PTA 執行委員の皆様のご協力のおかげで、予定通り実施することができました。ありがとうございました。

今年も、新型コロナウイルス感染症対策として、ブロックごとの開催、また密を避けるために参観者をブロックごとの入れ替え制とさせていただきましたが、昨年度よりパワーアップさせるために、徒競走の距離を中・高学年は長くしたり、6年生サポートを導入し6年生がスポフェス全体にかかわるようにしたりと教職員で何度も話し合いながら今年度のスポフェスを計画してきました。また、感染状況が落ち着いているため保護者の参観を2名とさせていただきました。今回、開催にあたっては受付から誘導、退場に至るまで当日の保護者ボランティアを引き受けてくださった皆さん、ボランティアの呼びかけから調整まで時間をかけて行っていただいた執行委員の皆さんに本当にご協力いただきました。おかげで無事にスポーツフェスティバルが開催できたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。今年度初めての取り組みもあり、ご不便等をおかけした部分もあるかと思いますが、今年度の反省は来年度に生かしていきたいと思います。

スポフェス当日は、どの子どもも真剣なまなざし、真摯な態度で競技や演技に参加し、自分の持てる力を存分に発揮していました。徒競走やリレー、演技に至るまで最後まで一生懸命力を尽くしている一人ひとりの姿に感動しました。練習から当日に至るまで一生懸命に頑張ったことが、達成感や満足感を生み、それが自信につながっていくこと、協力をしながら取り組んだことが子どもたち同士の絆となり、今後の学年や学級としてのすばらしい活動につながっていくと信じています。この行事を通して一人ひとりの子どもたちは多くのことを学んだと思います。そして、下学年の子どもたちも今年度は6年生のお兄さんやお姉さんにたくさん支えてもらったのではないかと思います。

大人はつい「かけっこは何番だったの?」と成績に目を向けがちですが、勝った負けたという結果だけではなく、目に見えない成果や学びが必ずあったはずです。スポフェスが終了してから、成長を感じさせるお子さんの言葉や行動に驚くこともあるかもしれません。そのような成長の機会を捉えて、子どもたちをほめたり励ましたりしながら、可能性を伸ばしてあげるサポートをしたいものです。